

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-191	小学校	理科	理科	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	理科 310	みらいをひらく 小学理科 3		

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



1. 編修の基本方針

子ども一人ひとりが、 持続可能な社会の創り手として活躍するために

これからの社会では、子ども一人ひとりが持続可能な社会の創り手として活躍するために、自ら問題を見つけ、みんなと一緒に問題を解決していくことが必要とされていると考えています。

「学びたい！」を全ての子どもたちに。三つの願いを込めて…

特色

1 「なぜ？」が見つかる教科書

子どもが自ら「なぜ？」を見つけられるように工夫しています。



特色

2 問題解決の流れがわかる教科書

問題解決の流れが明確なので、子どもの学びが深まります。



特色

3 みんなが理科を好きになる教科書

学んだことがわかり、自分の成長が実感できるので、理科が好きになります。



1 「なぜ？」が見つかる教科書

単元ごとに主人公を設定しました。



1 子ども自ら問題をつくることができるようにしています。

1 生き物を調べよう

身のまわりでよく見られるタンポポは、どのようなすがたをしているのかを思い出し、話し合います。

1 見つけよう じっさいにタンポポなどの植物をくわしく見て、どのようなすがたをしているかをたしかめよう。

2 観察しよう
① 形を調べる。
② 色を調べる。
③ 大きさを調べる。
④ カマキリ等を探る。

3 質問しよう 身のまわりの生き物は、それぞれどのようなすがたをしているのだろうか。

①自然に直接触れ合うことができる機会を用意して、自然の中から子どもの「なぜ？」を引き出すようにしています。

②「なぜ？」から問題をつくるまでは、みんなとの共通体験や対話を多く取り上げています。子どもが、共通体験や対話を土台とすることで、子ども自ら問題をつくるができるようにしています。

2 身のまわりには、花をさかさせたさまざまな植物や、虫などの動物が見られます。

3 問題 身のまわりの生き物は、それぞれどのようなすがたをしているのだろうか。

2 質問しよう
① 形を調べる。
② 色を調べる。
③ 大きさを調べる。
④ カマキリ等を探る。

身のまわりの生き物のすがたについて、どのように調べていけばよいかを考えよう。

身のまわりの生き物のすがたについて、生き物の形、色、大きさに注目して、くわしく調べよう。

③問題は、子どもの共通体験や対話をもとに設定しています。問題を子どもが自らつくることで、このあとの予想や計画の場面でも主体的に関わることができるようになります。

◀ p.8~11

2 巻頭・巻末にも「なぜ？」を注目するしかけがあります。



▼表紙裏~p.1

「なぜ？」をさがしに行こう。

「なぜ？」という気持ちは、わたしたちの世界についてよく知るスタートラインになります。

しぜんのかでプロペラを回しているのは、なぜかな？

SDGsずかん

目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

二次元コード

▲SDGsずかん

▼p.192

メッセージ

「よく見る」とはちがいに気づき、ぎもんを発見すること

養老孟司 先生

かいほう学者。子どものころから虫探しが大好きで、今も虫探しがしにむちゅうな先生です。

今は、パソコンやタブレットがあれば、画面越しにすぐに生き物のすがたを見たり、名前を調べたりすることができます。でも、自分の目で見てみなければ、わからないことがたくさんあるのです。

校庭や生き物さがしがいちがい、ちがいが少しずつこどももちがいがいというさでまきでまき「よくちがいがいぎもん

二次元コード

▲メッセージ動画

巻頭では、「なぜ？」理科を学ぶのかを、持続可能な社会の実現と関係づけて問いかけています。二次元コードでは、SDGsずかんを用意しています。

巻末では、「なぜ？」理科を学ぶのかを、科学の専門家が丁寧に説明しています。二次元コードでは、動画も提供しています。

2 問題解決の流れがわかる教科書



1 子どもの考えがつながり、深まるようにしています。

3年のチカラ
音が出ているものにさわってみよう。

音がしているものは、ふるえています。かんをたたく強さをかえたときのかんの様子をくらべて、気づいたことや調べたいと思ったことを話しましょう。

考え方のカギ
音の大きさによって、音が出ているもののふるえ方は、どのようにかわるのだろうか。音の大きさともものふるえ方について予想し、自分の予想をたしめる調べ方を考えよう。

じっけん1 小さい音と大きい音を出して、音が出ているもののふるえ方を調べよう。

けっか
調べたけっかから、音の大きさとふるえ方について考えよう。

けつろん 小さい音を出したときは、音が出ているもののふるえが小さく、

◀ p.121~124

①問題を設定するときは、みんなと問題をつくります。紙面では、問題をつくったあとに問題を設定し、子どもの考えがつながるようにしています。※問題を見つける場面に「3年のチカラ」、「2つのものを比べて考えた」ところに「**考え方のカギ**」と、アイコンで表しています。

強くたいたいで、大きい音を出したほうが、手に感じるふるえが大きい気がしました。

強くたいたいと弱くたいたときをくらべて、ふるえ方のちがいを見つけたのですね。

音の大きさによって、ふるえがどうかわるのか調べてみたいと思いました。

考え方のカギ

②紙面では、単元の主人公の考えが深まる様子を示すようにしています。

〈問題を見つける〉 音の大きさによって、ふるえがどうかわるのか調べてみたいと思いました。

〈予想〉 大きい音を出したときは、感じるふるえが大きかったから、ものふるえが大きいと思うよ。

〈けっかから考える〉 大きい音を出したときのほうが、ビーズの動きが大きくなったよ。

3 みんなが理科を好きになる教科書



1 自分の成長がわかるから、理科をもっと好きになります。

1 明かりがつくつなぎ方

学習前のひなのさん
豆電球とかん電池をどうつないだら、明かりをつけられるのかな？

学習後のひなのさん
かん電池の+きよく、豆電球、かん電池の-きよくをどう線で1つのわのようにつないで、回路をつくると明かりがつくね。

学習前と学習後で、自分の考えは、どのようにかわりましたか。

◀ (単元導入) p.145

◀ (単元末) p.156

●単元導入の「学習前の〇〇さん」と単元末の「学習後の〇〇さん」では、子どもでは気づきにくい学習前後の成長が実感できるようにしています。学習後に自分の成長がわかることで、次の学びに向かう力になるように配慮しています。

学習前のひなのさん
豆電球とかん電池をどうつないだら、明かりをつけられるのかな？

学習後のひなのさん
かん電池の+きよく、豆電球、かん電池の-きよくをどう線で1つのわのようにつないで、回路をつくると明かりがつくね。

学習前と学習後で、自分の考えは、どのようにかわりましたか。

2. 対照表（教育基本法）

教育基本法第2条	特に意を用いた点と特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 自然に親しみ、見通しをもって観察・実験を行うことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしています。 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「メッセージ」では、科学の専門家の発言を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求めることの大切さを説明しています。 	p.192
	<ul style="list-style-type: none"> 「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」、「わたしの研究」では、話し方や聞き方を説明し、相手の立場に立って学び合える、豊かな情操や道徳心を培うようにしています。 	p.5 p.70～71
	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入や観察では、屋外での活動を具体的に示すことで、健やかな身体を養うようにしています。 	p.8～13 p.92～97
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入の「学習前の〇〇さん」と単元末の「学習後の〇〇さん」では、自分の成長を実感できる場面を用意することで、自己を尊重して、その能力を伸ばすようにしています。 	p.8、18 p.21、32 p.35、48
	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりや自由研究の場面では、計画通り進まなかったときのアドバイスを示すことで、創造性を培うとともに、自律の精神を養うようにしています。 	p.70～71 p.174～177
	<ul style="list-style-type: none"> 「しりょう」、「科学のまど」では、学んだことと暮らしや仕事との関連を示すことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしています。 	p.69 p.103
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験では、男女が協力して問題を解決する様子を示すことで、男女の平等、自他の敬愛と協力する態度を養うようにしています。 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> 子どものイラストや写真では、性別、人種、身体的な特徴や障がいなどに十分配慮しています。 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> 「しりょう」「科学のまど」では、学んだこととSDGsとの関連を示すことで、持続可能な社会の創り手として、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしています。 	p.54 p.83 p.103、117
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 生き物の観察では、責任をもって育てることを通して、生命を尊ぶ心を育てるようにしています。 	p.25、27、29 p.37、39、41
	<ul style="list-style-type: none"> 生き物や自然環境をできるだけ多く取り上げ、自然環境の多様性や豊かさを知ることで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うようにしています。 	p.14～15 p.79～80
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 資料写真では、日本の伝統的な文化を取り上げることで、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるようにしています。 	p.50、51
	<ul style="list-style-type: none"> 資料写真や科学館、博物館の紹介では、様々な地域を取り上げることで、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるようにしています。 	p.79～80 p.184
	<ul style="list-style-type: none"> 「しりょう」「科学のまど」では、学んだこととSDGsとの関連を示しています。SDGsを達成することを通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。 	p.54 p.83 p.103、117

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

注目! すべての子どもにとって、学びやすくするための配慮

ユニバーサルデザインによる多様性への配慮

- ユニバーサルデザインフォントの使用
紙面でもパソコン画面でも見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

みらいをひらく 小学理科

- カラーユニバーサルデザインへの配慮
紙面のデザインやイラスト、図版などは、色覚の個人差を問わずより多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインにしています。

特別支援教育への配慮

- 専門家による校閲を受け、すべての子どもの学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しています。

人権教育への配慮

- 人種や身体的特徴、障がいの有無にかかわらず、お互いの個性やよさを認め合い、ともに楽しく学び、生活していくことができるように工夫しています。登場人物やイラスト・写真については、性別による偏りがないように配慮しています。

注目! 今日的な課題への取り組み

理科の教科担任制への取り組み

教科担任制の課題のひとつに継続観察の難しさがあります。例えば、「太陽と地面」では、観察時間を午前と幅を持たせることで、休み時間を使った観察方法を提案しています。

感染症対策、地震対策への取り組み

巻末の「理科室の使い方」では、理科室での感染症対策や、地震時の避難行動について、子どもにわかりやすく説明しています。

SDGs への取り組み

現在、地球温暖化をはじめとした多くの環境問題があります。これらの問題について、一人ひとりが自ら問題を見つけ、みんなと一緒に問題を解決していくことができるように、専門家による校閲を受け、SDGs に取り組める資料を多数取り上げています。二次元コードでは、SDGs ずかんを用意しています。

デジタル化への取り組み

二次元コード（まなびリンク）では、動画、ウェブずかんなどを用意し、限られた紙面では伝えきれなかった情報を提供しています。

▼ p.101

▼ p.183

▼ SDGs ずかん

▼ p.103

二次元コード

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-191	小学校	理科	理科	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	理科 310	みらいをひらく 小学理科 3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1 「なぜ？」が見つかる教科書

単元ごとに主人公を設定しました。



子どもが自ら「なぜ？」を見つけられるように工夫しています。

「なぜ？」が見つかる工夫がいっぱい。

【見つける①】 単元導入では、子どもの「なぜ？」を引き出しやすい資料写真を精選しました。成虫、卵、幼虫の写真を比べて子どもの「なぜ？」を引き出します。

【見つける②】 資料写真を見た単元の主人公の「なぜ？」を示すことで、子どもの「なぜ？」を引き出しやすくしています。

▼ p.34~35

3 チョウを育てよう

学習のつながり

- 3年 1 生き物を調べよう
- 2 植物を育てよう
- 3 チョウを育てよう
- 葉を出したあと
- 5 こん虫の世界
- 花をさかせたあと
- 4年 季節と生き物

キャベツに集まるモンシロチョウ

キャベツにたまごをうむモンシロチョウ

モンシロチョウが、キャベツの葉にたまごをうみにきています。

1 チョウの育て方

学習前のゆうまさん

モンシロチョウは、たまごからどう育つのかな？

モンシロチョウのたまご

モンシロチョウのよう虫

モンシロチョウがとまったキャベツの葉を見ると、黄色いつぶやあおむしがついていることがあります。キャベツの葉についている黄色いつぶは、モンシロチョウのたまごです。また、あおむしは、たまごからかえったモンシロチョウのよう虫です。

3年のチカラ

見つけよう モンシロチョウのたまごやよう虫、チョウをくらべて、気づいたことやぎもんに思ったことを話し合みましょう。

たまごでチョウでは、形がぜんぜんちがうよ。たまごからどのようにチョウに育つのかな？

同じよう虫でも、大きさがちがうがあるよ。よう虫がだんだん大きくなって、はねのあるすがたになるのかな？

たまごやよう虫、チョウをくらべて、形や大きさのちがいを見つけたのですね。

♂考え方のカギ

♂考え方のカギ

【見つける③】 資料写真から問題をつくる間には、「見つけよう」を用意しました。与えられた問題でなく、子ども自らが問題をつくることをサポートしています。

【見つける④】 「見つけよう」では、子どもの対話を取り入れることで、問題をつくるまでの具体的な対話例を示しています。

2 問題解決の流れがわかる教科書



問題解決の流れが明確なので、子どもの学びが深まります。

問題解決の流れがわかるので、学びがもっと深まります。

わかる① 「見つけよう」から「学びを広げよう」までの問題解決の流れを、単元の主人公に子どもが重ね合わせて確認できるようにしています。

わかる② 問題解決の流れを1本の線でわかりやすく示しています。また、問題解決の各場面がはっきりとわかるように、大きく表しています。

1 光の進み方

かがみを使うと、太陽の光（日光）をはね返すことができます。

学習前のたけるさん
光のまと当てをして、どんなことがわかるかな？

かがみ
かがみを痛として、わらないようにする。けがをするので、わたしががみにはさわらない。

3年のチカラ
見つけよう 光のまと当てをしましょう。

じゅんぴ かがみ まと 三角コーンなど

てじゅん

1 日かげに、高いまと、ひくいまとを作って、まとの前に三角コーンなどを置く。

2 かがみを使って日光をはね返し、まとに光を当てる。

かがみではね返した光を人の顔に当ててはいけない。強い光が目に入ると、目をいためてしまう。

くふう 下の図のようにして、自分のすきな形の光を当ててもよい。

黒い紙 (ダイヤの形) かがみ 両面テープではりつける。

2つにおって切る。

107

光のまと当てをしたときの高いまととひくいまとの様子をくらべて、気づいたことや調べたいと思ったことを話し合おう。

高いまととひくいまと

高いまとには光が当たったけど、ひくいまとにはコーンがひやまで光が当たりませんでした。

高いまとの光とひくいまとの光をくらべて、光の当たり方のちがいを見つけたのですね。

かがみではね返した光がどう進むのか、調べたいと思いました。

考え方のカギ

問題 かがみではね返した光は、どのように進むのだろうか。

予想しよう 光の進み方について、自分の予想を

計画しよう 考えましょう。

じっけん1 日光をかがみではね返して、光の進み方を調べよう。

じゅんぴ かがみ まと 黒い紙 だんボール紙 両面テープ

てじゅん **黒い紙を使って調べる**

1 かがみではね返した光をまとに当てる。

2 かがみとまとの間に黒い紙を入れて、

黒い紙を持つ人は、かがみではね返した光が紙に当たるときの様子に注意して。

けっか

調べたけっかから、光の進み方について考えよう。

黒い紙を使って調べると、予想どおり、かがみからまとまで光がまっすぐに進んでいったよ。

光を地面にはわせて調べると、予想とはちがって、まっすぐな光のすじが見えたね。

けつろん かがみではね返した光は、まっすぐに進む。

学びを広げよう これまでに学んだことを使って、下の写真のように光が見えるわけをせつめいしてみよう。

木もれ日

ブラインドからさしこむ日光

▲ p.107～110

わかる③ 3年は、主に「ちがいやにしているところに気づいて、問題を見つける力」をつけていきます。この問題を見つける場面には、「3年のチカラ」とアイコンで表しています。

わかる④ 子どもの発言の中で、「2つのものを比べて考えた」ところは、「**考え方のカギ**」とアイコンで表しています。また、理科の見方を働かせたところは、「**見方のカギ**」とアイコンで表しています。



学んだことがわかり、自分の成長が実感できるので、理科が好きになります。

学んだことや自分の成長が実感できます。

ふり返ろう 風やゴムの力

学習したこと

風の力

- 風のかで、ものを動かすことができる。
- 強い風を当てると、弱い風を当てたときよりもほかけ車が動きよりは長くなる。

ゴムの力

- ゴムのかで、ものを動かすことができる。
- ゴムを長くのばすと、短くのばしたときよりもゴム車が動きよりは長くなる。

学習前のりおさん

風のかでものを動かすことができるのかな？

学習後のりおさん

風のかで大きいほどもの動き方は大きくなるね。

学習前と学習後で、自分の考えは、どのようにかわりましたか。

▲ p.60

好きになる① 単元末には、「ふり返ろう」を用意しました。学んだことを、図解でわかりやすく解説しています。テスト前の自学自習や、感染症などの休校対策に活用できます。

好きになる② 単元末には、「学習前の〇〇さん」と「学習後の〇〇さん」を用意しました。単元の主人公の学習前から後への成長に重ね合わせて、自分の成長を実感できるように工夫しています。

学習前のりおさん

風のかでものを動かすことができるのかな？



学習後のりおさん

風のかで大きいほどもの動き方は大きくなるね。



学習前と学習後で、自分の考えは、どのようにかわりましたか。

紙とデジタルの融合で、より理科が好きになります。



好きになる③ デジタルコンテンツが有効な場面には、二次元コードがついています。文字だけでは理解しにくい結論には解説動画を、手順がわかりにくい器具には使い方動画を用意しました。

NHK

二次元コード

① けつりん 子葉を出したあとのホウセンカは、子葉とはちがう形の葉を出す。また、前とくらべて葉たけのびている。

ヒマワリ 葉がら〜7まいになったら、花だんなどに植えかえよう。

ポットから出して、土に植える。

▲解説動画

▲ p.28

二次元コード

虫のがねの使い方

虫のがねを使うと、小さいものを大きく見ることができます。

手で持てるもの

① 虫のがねを目に近づける。

② 見るものを前後に動かして、はっきり見えるようにする。

手で持てないもの

① 虫のがねを目に近づけたまま、顔を前後に動かして、はっきり見えるようにする。

② 顔を前後に動かす。

③ 顔を動かす。

次に、見るものを前後に動か

▲ p.178

好きになる④ 植物、こん虫、SDGsについて深く知りたいときのために、ウェブずかんを用意しました。限られた紙面で伝えきれない情報を丁寧に解説しています。

植物ずかん

かんざつ1 身のまわりの生き物のすがたを調べよう。

二次元コード

植物について

① 身のまわりの植物をさがして、形や色を調べたり、大きさをかいたりする。

② 全体かどうか、花や葉などの部分かどうか、カメラで写真を撮る。

▲植物ずかん

▲ p.12

SDGsずかん

目標 15：森の豊かさを守る

15 森の豊かさを守る

二次元コード

カブトムシを食べる生き物

カブトムシは、夜に活動することが多く、夜や朝方に水のある食べものにクサなどの水に集まります。また、クサの汁を飲むクサエビなどは、特にすみ、夜に活動し、カブトムシを食べます。生き物がいるところは、食べ物があります。カブトムシが生活するところは、夜間になると涼しくなるとは、カブトムシが生活する場所であり、それはカブトムシを食べるクサエビのすみかにもなっています。

▲ SDGsずかん

▲ p.83

二次元コードでは、

- 動画…観察、実験の結果動画、解説動画、器具の使い方動画、インタビュー動画などを25本用意。
- ウェブずかん…植物ずかん、こん虫ずかん、SDGsずかんなどを用意。二次元コードは総計43個を用意。

検討の観点と内容の特色



観点	内容の特色（該当箇所掲載）	該当箇所
教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●自然に親しみ、見通しをもって観察・実験を行うことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしています。 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> ●「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」、「わたしの研究」では、発表時の話し方や聞き方を説明し、相手の立場に立って学び合える、豊かな情操や道徳心を培うようにしています。 	p.5 p.70～71
	<ul style="list-style-type: none"> ●単元導入や観察では、屋外での活動を具体的に示すことで、健やかな身体を養うようにしています。 	p.8～13 p.92～97
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●理科の指導要領に示された目標に則り、観察・実験を通して問題解決の力が育成されるように構成しています。3年では主に、「ちがいやにしているところに気づいて、問題を見つける力」が育成できるように編修しています。 	全体
	<ul style="list-style-type: none"> ●理科の指導要領に示された目標に則り、理科の見方・考え方を働かせて問題解決を進める構成になるように編修しています。 	
内容・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもや先生がゆとりをもって問題解決学習を進めることができるように、適切な時数と配分をしています。 	全体
主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「見つけよう」では、子どもが主体的に問題を見つけられるように工夫しています。また、「見つけよう」「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」では、キャラクターの対話場面を多く掲載しました。最後の「学びを広げよう」では、学んだことをより深める課題を提供しています。 	全体
知識及び技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ●「けつろん」では、「問題」と対応した表現にすると共に箇条書きで示しました。巻末の「使い方・調べ方」では、器具の使い方を動画（二次元コード）でも解説しています。 	p.37～42 p.178～183
思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●単元末の「たしかめよう」では、知識及び技能だけでなく、思考力・判断力・表現力を確認できる問題を提供しています。 	p.33 p.49、61
	<ul style="list-style-type: none"> ●「ちがいやにしていることに気づいて、問題を見つける力」をつける場面では、「3年のチカラ」とアイコンで表しています。 	p.22、35 p.51、55
学びに向かう力、人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ●単元導入の「学習前の〇〇さん」と単元末の「学習後の〇〇さん」では、自分の成長が実感できる場面を用意することで、次の学びに向かう力につながるように工夫しています。 	p.8、18 p.21、32 p.35、48
理科の見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ●2つのものを比べて考えた子どもには、「考え方のカギ」、理科の見方を働かせている子どもには、「見方のカギ」とアイコンで表しています。 	p.22、30 p.35、44
ものづくりの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●「作って遊ぼう」では、学んだことをふまえ、目的を達成しているかどうか計測し、目的通りでない場合はその目的を達成するために修正するといった活動ができるようにしています。 	p.174～177
家庭学習への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●単元末の「ふり返ろう」では、感染症による休校やテスト前に、家庭での自学自習ができるようにしています。 	p.18、32 p.48、60
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭の「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」では、国語で学んだ力を生かす方法を説明しています。また、単元中や巻末の「算数とのつながり」では、学んだことと算数との関連がわかるようにしています。 	p.5、134 p.185
生活科、中学理科との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭の「ありがとう生活科！よろしく理科！」では、生活科との接続を説明しています。また、「広がる科学の世界」では、3年で学んだことをベースとして、中学以上の内容をわかりやすく説明しています。 	p.2～3 p.22、50 p.129
地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●資料写真や科学館、博物館の紹介では、北海道から沖縄まで様々な地域を取り上げることで、地域の特性に配慮した学習ができるようにしています。 	p.79～80 p.184
教科担任制への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●理科の時間を使わないでも継続観察ができるように、休み時間を活用した観察方法を提案しています。 	p.101

カリキュラム・マネジメントへの対応	●単元配列や各単元の指導時数を工夫し、3学期制や2学期制のどちらにも対応しています。また、複式学級指導にも対応しやすいように配慮しています。	全体
特別支援・人権教育への配慮	●専門家による校閲を受け、すべての人にとっての学びを保障する観点に立って編修しています。	全体
SDGsへの対応	●「しりょう」「科学のまど」では、SDGsの目標との関連がある場合は、アイコンで表すとともに、目標をより詳しく調べることができる「SDGsずかん」を用意しています。	p.54、83 p.103、117
デジタル化への対応	●二次元コードでは、ウェブずかん、動画などを用意し、限られた紙面では伝えきれなかった情報を提供しています。また、タブレットパソコンを使った写真や動画のとり方も説明しています。	p.4、191 p.180
感染症・地震対策	●巻末の「理科室の使い方」では、理科室で地震が起きた時や感染症が広がった時の対応を、子どもにわかりやすく説明しています。	p.183
造本の工夫	●AB判より少し大きな判型を採用することで、資料写真を大きく表現し、子どもの興味を高めています。	全体
	●表紙には、理科室でも安心・安全に使用するため、耐水加工や抗菌加工をしています。	表紙

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
「なぜ？」をさがしに行こう。	A、B	p.1	1
ありがとう生活科！よろしく理科！、3年で学ぶこと	指導計画の作成と内容の取扱い1 (1) (2)、2 (1) (5)	p.2~7	
1 生き物を調べよう	B (1) ア (ア)、イ、 指導計画の作成と内容の取扱い2 (3)	p.8~19	5
2 植物を育てよう	B (1) ア (ウ)、イ	p.20~33	8
3 チョウを育てよう	B (1) ア (イ)、イ	p.34~49	9
4 風やゴムの力	A (2) ア (ア) (イ)、イ、 指導計画の作成と内容の取扱い2 (5)	p.50~61	8
● 葉を出したあと	B (1) ア (ウ)、イ	p.62~69	3
わたしの研究	B (1) ア (ア)、イ	p.70~71	
5 こん虫の世界	B (1) ア (ア) (イ)、イ	p.72~83	6
● 花をさかせたあと	B (1) ア (ウ)、イ	p.84~91	2
6 太陽と地面	B (2) ア (ア) (イ)、イ	p.92~105	7
7 光	A (3) ア (ア) (イ)、イ	p.106~119	7
8 音	A (3) ア (ウ)、イ	p.120~131	4
広がる科学の世界	A (3) ア (ウ)、イ	p.129	
9 ものの重さ	A (1) ア (ア) (イ)、イ	p.132~143	7
10 電気の通り道	A (5) ア (ア) (イ)、イ	p.144~157	10
11 じしゃく	A (4) ア (ア) (イ)、イ	p.158~173	10
● 作って遊ぼう	A (4) ア (ア) (イ)、 A (5) ア (ア) (イ)	p.174~177	3
使い方・調べ方、 科学館やはくぶつ館のりょう、 算数とのつながり	指導計画の作成と内容の取扱い2 (2) (3) (5) (6)、3	p.178~185	
3年で学んだこと	A (1) ~ (5)、B (1) ~ (2)	p.186~187	
生き物ミニずかん	B (1) ア (ア) (イ) (ウ)	p.188~189	
		計	90

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-191	小学校	理科	理科	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	理科 310	みらいをひらく 小学理科 3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
54	(科学のまど) 風の力で電気をつくる	1	小学6年A:(4)ア(ア) 「発電」	0.25
129	(広がる科学の世界) 音でまわりの様子を知ることができる!?	1	中学1年:第1分野(1)ア(ア)㊦ 「音の高さや大きさ」	1
141	(しりょう) 水と油の重さ	1	中学1年:第1分野(2)ア(ア)㊦ 「密度」	0.5
171	(しりょう) 地球は大きなじしゃく	1	中学2年:第1分野(3)ア(イ)㊦ 「磁界」	0.5
合計				2.25

(「類型」欄の分類について)

- 1 …… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2 …… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容